

みんなの 町議会

第31号

平成24年7月15日

広島県



じんせきこうげんちょう
神石高原町

- あなたの声を町政に(11人の一般質問) … 6
- ありゃあどうなった「買い物困難者支援事業」…12
- ローソン効果は?第三セクター経営状況 …13
- 一元玉募金で支え愛(油木小児童会) ……14
- 神龍湖振興研究会(元気なグループ紹介) …16



ねがいを込めて七夕飾り (油木保育所)

対策事業で モデル地区を支援

6月定例会

6月定例会は、6月12日から15日まで開かれ、繰越明許費繰越計算書及び平成23年度第3セクター経営状況の報告があり、平成24年度各会計補正予算、住民基本台帳法及び出入国に関する特例法の一部

改正に伴う関係条例の制定など60議案を審議し、原案のとおり可決した。

一般質問では11人の議員が、当面の町政課題などをたずねた。

総額で1億9291万円の増額 長期債繰上償還に3299万円

6月度補正予算は、一般会計で1億4040万円、特別会計で5251万円、総額で1億9291万円の増額となった。

有害鳥獣対策に 700万円

一般会計の主なものは、有害鳥獣駆除対策事業としてモデル地区（小野・福永）へのサル・いのしし用防護柵設置、講習会、免許取得に700万円、本年11月25日の町長・町議選挙からの選挙投票区再

編システム整備、投票所への送迎経費など416万円、公民館活動で発行した「残しておきたいおふくろの味」増刷経費103万円、長期債繰上げ償還経費3299万円など増額補正となった。

投票所再編で 343万円減額

また、投票所の再編による選挙経費343万円、介護保険特別会計繰出し経費427万円など減額となった。

特別会計

5251万円の増額

特別会計では主に、介護保険特別会計で繰入金金の清算による繰出し経費687万円、簡易水道特別会計で漏水など維持管理経費に87万円、農業集落排水特別会計で施設整備費など130万円が増額補正となった。

歳入の主なものは、県支出金5336万円、繰入金1995万円、共済掛け金や宝くじ助成補助金など諸収入2678万円である。



さる用電気柵設置状況（永野地区）

有害鳥獣駆除

一般会計 補正予算額 1億4,040万円

平成24年6月補正（一般会計）

単位：万円（四捨五入）

費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	4	8,899	職員人件費
総務費	1,597	15億6,663	自治宝くじ助成事業940、選挙管理委員会経費416、町長選挙▲232、議員選挙▲111
民生費	▲322	17億6,900	高齢者福祉施設（陽光の里）施設修繕240、母子生活支援事業388
衛生費	225	10億1,421	やすらぎ苑施設経費125、し尿処理車両修理85
農林水産費	4,986	8億3,408	鳥獣被害対策モデル集落支援（小野・福永）700、全国共進会206、農道日南線改良533 農業体質強化（油木政井田）780、森林整備地域支援1,477、林業再構築1,240
商工費	1,499	1億0,115	スコラ施設整備1,510
土木費	881	6億1,394	県道三和油木線改良900
消防費	50	4億0,683	東日本大震災被災地支援50
教育費	1,707	7億4,093	ALT新規採用273、中・高連携パンフ作成104、「おふくろの味」冊子増刷103
災害復旧費		3	
公債費	3,299	19億8,262	長期債元金繰上償還（合併推進債県道138、本庁舎増築1,230、合併債県道1,932）
諸支出金	114	6億7,199	人と自然が輝く事業基金積立▲200、保健・医療・福祉事業基金積立300
合計	1億4,040	98億3,040	

平成24年度特別会計・病院事業会計補正予算

単位：万円（四捨五入）

会計名	H24年度			
	当初予算額	6月補正	補正後予算額	
一般会計	96億9,000	1億4,040	98億3,040	
特別会計	国民健康保険	11億5,410	758	11億6,168
	後期高齢者医療	4億0,370	1,573	4億1,943
	介護保険	19億0,340	2,447	19億2,787
	簡易水道事業	3億5,200	337	3億5,537
	飲料水供設事業	3,410	1	3,411
	農業集落排水事業	2億4,690	135	2億4,825
	分収育林事業	10		10
	総合開発事業	7,510		7,510
特別会計計	41億6,940	5,251	42億2,191	
病院事業会計	1億8,200		1億8,200	
合計	140億4,140	1億9,291	142億3,431	



「残したいおふくろの味」増刷

6月補正予算質疑

総務課

小林議員 投票所送迎経費が計上されているが、具体的な内容は。

総務課長 30投票区が10投票区に再編されるに伴い、投票所送迎委託料50万円を見込んでいます。削減された20の旧投票所から新しい10の投票所へ、午前午後各1回程度の送迎を考えています。初めての事であり、利用度も未知数なので、今回は試行運行と考えています。

まちづくり推進課

田舎暮らしアドバイザー 田舎暮らしアドバイザーは誰にするのか。

横尾議員 田舎暮らしアドバイザーは誰にするのか。

まちづくり推進課長 調査・案内をするので地域のごことに詳しい役場OBが適任と思う。

産業課

有害鳥獣対策の充実を

小林議員 小野・福永2地区をモデルに指定し、有害鳥獣駆除対策事業700万円が計上されている。国・県依存だけでなく、単町でも補助率アップを含め積極的に支援すべきでは。

産業課長 昨年、猿用の電流ネットで効果があつた。当初予算に個人向け2分の1補助100万円を計上している。国・県補助が追加され、新たな2地区をモデルに指定補助する。今後、県へさら

なる要望をしていきたい。

橋本議員 ①農林産物販売促進施設の改修内容

②助成金180万円の使途③自然公園等管理施設修繕内容は。

産業課長 ①182ステーション産直市場前に屋根つきの障害者専用の駐車場を3区画設置する。②百菜館の冷凍庫を購入する。③落雷被害によるスコラドームの照明修繕や漏水修繕などである。

小川議員 財産収入の立木売却収入212万5千円の詳細は。

産業課長 豊松地区の山林を間伐した立木の売却収入を計上している。

環境衛生課

事故の状況は

横尾議員 し尿収集車の単独事故の内容は。環境衛生課長 狭い道路で対向車と離合するため

バックしたとき左後輪が脱輪した。

建設課

農業組合法人支援

橋本議員 農業体質強化基盤整備促進事業の内容は。

建設課長 農業法人支援として、国の補助金追加割当により、政井田工区の水路、舗装工事を行う。

教育委員会

「おふくろの味」を広める

橋本議員 「神石高原町残しておきたいおふくろの味」増刷理由は。生涯学習課長 好評であり1000冊予定。予約販売をする。



地域おこし協力隊の指導でロケットストーブ作り

こんなことが決まりました

人事

全会一致

人権擁護委員の推薦

小林 伸平さん
任期：法務大臣が委嘱した日から3年間
佐々井圭子さん
任期：法務大臣が委嘱した日から3年間

損害賠償

全会一致

債権者 小坂 大輔
損害賠償額 3,800円
概要 町道路肩崩壊未修繕箇所での軽トラック右後輪パンクの損害

債権者 矢田貝美如
損害賠償額 52,816円
概要 小島体育館屋根の一部が駐車中の自動車に飛来し車両前部を損傷した損害

債権者 (株)神石共同運送 代表取締役 横尾正文
損害賠償額 120,571円
概要 農道で停車中のトラックに倒木が直撃し運転席上部を損傷した損害

債権者 (有)池田タクシー 代表取締役 池田哲二
損害賠償額 24,759円
概要 町道で走行中の自動車に横断溝のグレーチングが跳ね上がり車両底部を損傷した損害

財産の取得

賛成12：反対1

所在 神石高原町
新免地区・時安地区・父木野地区
種別 普通4輪小型動力ポンプ積載車
細目 ダブルキャビン4輪駆動車 3台

取得金額 24,032,400円
相手方 神石郡神石高原町近田1382番地10
(有)神石ミニカ商会 代表取締役 堀 達也

条例改正

全会一致

住民基本台帳法の一部を改正する法律及び難民認定法及び日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する条例の整理に関する条例

外国人登録法が廃止され、住民基本台帳法の一部が改正されたことにより、関係条例の整理を行なうもの。

神石高原町手数料条例

概要 国土調査法の規定による地籍調査の成果の供用に伴い筆界点座標値1筆500円、図根点座標値1点500円
施行 平成24年7月1日

神石高原町重度心身障害者介護手当支給条例

知的障害児施設、盲ろうあ児施設、肢体不自由児施設及び重症心身障害児施設を障害児入所施設に改める。
施行 交付の日から施行

工事請負契約の締結

全会一致

工事名 社会資本整備総合交付金事業
町道仁後線道路改良工事
工事場所 神石高原町古川 地内

請負者
住所 神石高原町草木3744番地11
氏名 株式会社後藤組 代表取締役 志垣謙二
請負金額 変更前 76,650,000円
工期 自 平成24年6月13日
至 平成25年3月29日
概要 土工17,510㎡・法面工4,520㎡・側溝903m・舗装工2,260㎡

土地所有権確認及び登記請求

事件に関する訴えの提起

全会一致

訴えの趣旨 坂瀬川地区内共有地の所有権を原告に移転登記を求める
訴えの理由 土地の所有権(持分権)に関する時効取得のため

被告となるべき者 43人
神石郡神石高原町坂瀬川260番 雑種地1,489㎡
神石郡神石高原町坂瀬川263番 原野 381㎡
神石郡神石高原町坂瀬川5202番1 山林1,624㎡
神石郡神石高原町坂瀬川5202番2 学校用地277㎡
神石郡神石高原町坂瀬川乙146番 宅地44.37㎡
管轄裁判所 広島地方裁判所福山支部

あなたの声を町政に

一般質問時間は、一人30分
一問一答方式で行いました

問 病児保育に取り組むべきでは



藤田晃己議員

答 前向きに検討する

Q 子育て支援の一貫として病児保育に取り組むべきでは。

A 町長

本町では、取り組んでいないので前向きに研究・検討してみたい。

Q 町立病院を利用し、病院併設型がベストではないか。

A 町長

病院との協議も必要。病院の了解があれば、前向きに検討したい。

Q 保育所の指定管理は必要か。

A 町長

子供子育て新システムもはっきりしていない。国の方針を見極めていきたい。

Q 以前、検討委員会を立ち上げるといわれたがその後の取り組みは。

A 町長

以前の検討委員会は指定管理の制度導入についてメリットとデメリッ

トの精査と住民の声を聞く必要があったが、国の方針が変わったので今は中断している。

Q 新規就農者支援事業の現状と課題は。

A 町長

平成21年度からの取り組みで9人の新規就農者が現在8人である。所得350万円のハードルは高いが、意欲のある人を支援していきたい。

Q 1年目月額10万円、2年目月額7万円だけでなく、もう少し継続的な支援、指導が必要ではないか。

A 町長

全体的に全てに支援というのには難しいが、真摯に取り組む人には技術的な踏み込んだ支援をやらないと、本当の新規就農者にはなれないと思っている。

Q 11月10日、11月17日、11月24日の3回、病児保育の相談会を開催する予定だが、病児保育とは

児童が病気の状態にあり集団保育が困難な時期、医療機関に付設された保育室で一時的にお預かりすること。



病児保育とは
児童が病気の状態にあり集団保育が困難な時期、医療機関に付設された保育室で一時的にお預かりすること。

問 3期目挑戦へのマニフェストを明らかに



瀬尾征爾議員

答 若者の定着が第一

Q 町長は、3期目の出馬を表明された。この7年間の実績は高く評価されるが、3期目の4年間はまさに集大成の期と思つ。

財政の厳しさも予想されるが、政権公約の柱を明らかにされたい。

A 町長

公約というよりは目指す政策目標に置き換えて理解してもらいたい。今後財政運営は厳しくな

り拡大基調はとれないので、さらに選択と集中が必要である。

政策の柱は人口減少に歯止めをかけることであり、若者の定着が第一だ。基幹産業の農林業に徹して定着を考えたい。

第2、第3のトマト団地をつくり全国の若者を集めたい。

森林資源の活用で、木質バイオマスにシフトして、若者の雇用確保が、

目指す政策的な大きな課題と思つている。

人件費の抑制が必要だがワークシェアリングして、一定の職員を確保しながら臨職賃金を含めた人件費総額を増やさない方法で考えたい。

300年の歴史があり、和牛とともに町を代表する特産品である。こんにやくを「黒」の産品の柱にいてブドウ栽培

培並みの補助制度を設けるべきでは。

A 町長

いったん手を引いたものを復活するには、相当のエネルギーを要する。こんにやく栽培を奨励するには、トマトのように圃場整備を行政が行いメニュー化して若者に選択肢を与えることも必要だ。赤と黒のプロジェクトに入れるのは、やぶさかではない。

300年の歴史があり、和牛とともに町を代表する特産品である。こんにやくを「黒」の産品の柱にいてブドウ栽培

こんにやくを「黒」の産品の柱にいてブドウ栽培

こんにやくを「黒」の産品の柱にいてブドウ栽培

こんにやくを「黒」の産品の柱にいてブドウ栽培

「その他の質問」
県道から、「湯っ蔵さんわ」に通じる片側を歩道にしたらどうか。



こんにやく栽培中

問 油木高校の存続に赤信号

片山元八郎議員



答 実情に応じて対応したい

Q 教育的状況をどう分析するか

教育長は、この危機的状況をどう分析するか

A 町長

大変な危機感を覚えた。平成17年の45%以外は、毎年50%を越えている。V字回復を目指す。

Q 「油木高校を育てる会」会長として、今春の油木高校への町内中学生進学率43%をどう思うか。

普通科への進学率が過去最低。専門学科への進学増も影響。大学への進学実績のPR不足。進路指導での中学校との連携不足も影響。

Q 昨年11〜12月に町内全中学生を対象にアンケート調査が実施された。

「あなたは、油木高校に進学したいと思いますか」

①思う29% ②思わない

A 教育長

「あなたは、油木高校に進学したいと思いますか」

A 教育長

油木高校は、県立高校なので、特区扱いは無

31%③わからない40% 将来どんな仕事をした

いかに、子どもの発達段階に

階に応じて、教育現場でしっかり指導すべきだ。

（世界のイチロー選手が、小学六年生の時書いた作文「なりたいものになるために」を紹介。）

油木高校1クラス40人の枠を取っ払え。県教委に特別措置を認めさせよ。

理。現時点で、県教委の油木高校に対する評価は高く「一喜一憂せず教育効果を高め、町外からも進学者数を増やすように」努めていきたい。



油木高校文化祭 ナマズかば焼き販売

問 182ステーションへ同棲ローソンの目指すもの

小林 貢議員



答 地域経済の拠点に

Q 町・182ステーション(182s)・ローソンの関係について。

182sとローソンの関係は、182sの経営の中に、182s独自の経営と、ローソン経営がある。

Q 町とローソンとの関係は、182sが町の第三セクターであることから、町が182sの経営内容に関わることで、ローソンへ間接的に関わることになる。たまたま、

A 町長

副町長が182sの社長を務めていることで、町が直接ローソンと関わっているかに解釈されがちだが、実は、182sの中のローソンである。その理解で良いか。

Q ローソンの意義は。

A 町長

誘致について、若者達からコンビニのない町は広島県でもわが町だけだ。そういう強い要望が

A 町長

その通りだ。

経営母体の182sに入込客も増え、本業である直売所として盛況を博している。条件の良い地の利を活かしながら、生産者と一体となって商品の販売、農業振興、入込



さんわ182ステーション内のローソン

客の観光案内、設備の充実などを行い、南の玄関口として恥じない店となるよう、ローソンと共に連携しながら、地域経済の拠点となるよう取り組んでいきたい。

問 モンキードッグの
取り組みは

横尾正文議員



答 モデル地区を選定し早期に対応

Q 鳥獣被害対策の効果は。また、モンキードッグへの取り組みは。

A 町長
電気牧柵は、半額補助によってかなり設置が進んだ。また駆除によりイノシシの捕獲数は増加した。

モンキードッグについては昨年先進地の山口県の視察をしたが、犬の養成訓練に時間がかかり、専門性が必要なので再考しなければならない。

Q 昨年3月議会でのモンキードッグについての質問に対し、「国の緊急対策事業の中にソフトメニューがあり、これらの該当する事業を精査して町内での取り組みを考えている」と答弁されたが、その後の取り組みは。

A 産業課長
モンキードッグの取り組みは、地域住民の理解や狩猟班の方々の協力も必要なので十分検討する。



山口県仁保地区のモンキードッグ訓練

Q 本町には犬の訓練センターがある。ここで訓練し特区を設け試行できないか。

Q モデル地区を選定し、早期に対応したい。近年の空き家の増加対策は。また空き家バンクに利用できない物件は犯罪の温床となる。空き家等適性管理条例を制定すべきでは。

A 町長
本町では平成19年度より空き家バンク制度の取り組みをしている。平成23年度の登録数が16件、問い合わせが56件と増加している。これを定住に

繋げたい。
また、空き家等適性管理条例は、状況を見極めて検討したい。

問 神石公民館を元に戻せ

松本彰夫議員



答 実情に応じて対応したい

Q 各地区の公民館が支所に統合されたが、この目的と影響は。

A 教育長
支所に用事のある人も公民館に用事のある人も一カ所で用事が済むよう利便性を考え、経費の節減も図りたい。影響はあると思うので、町民の声を聞き対処する。

Q 公民館に用事のある人と支所に用事のある人は目的が違う。神石公民館は図書の利用も多いが、統合されて

から利用者は激減している。地域からも元に戻して欲しいとの声がある。

A 教育長
早急に実情に応じた対応をする。

Q 設計業務や、バスの委託など、最低価格が設けられていない。品質の管理や安全性の面から、最低価格を設定すべきではないか。

A 町長
設計業務では、品質の低下があるとは思わない。一般競争入札を実施

する時は、検討する必要はあるかもしれない。

A 教育長
スクールバスの運行については、安全運転を最優先に行っており、契約額の多少で安全運転が損なわれる事はない。最低価格については、総務課とも協議し検討する。

Q 高速インターネットを利用した、場所時間にとられない働き方をする「テレワーク」について、国も推進している。本町も積極的に働き

かけて、推進すべきでは。

A 町長
ITを活用したテレワークを活用する企業も増えている。本町も基盤が整っているので、検討したい。



神石公民館が使用していた神石交流センターじんせきの里

問 防犯カメラで安全安心なまちづくりを

小川清治議員



答 カメラ設置補助は考えていない

Q 町内の過去5年間盗難など発生状況は、平成18年38件、平成19年66件、平成20年23件、平成21年33件、平成22年51件、平成23年33件、平成24年4月末8件であり、一番多いのが、車両の盗難である。

A 個人の財産は自分で維持管理しななければならぬが限界もある。行政として支援ができないか。

最近事件の解決に防犯カメラが効果を発揮し、

Q 犯罪の抑止力にも繋がっている。

A 町長の 町内の幹線道路や幹線交差点に防犯カメラを設置すれば安全で安心して暮らせるまちづくりに繋がるのでは。

Q 防犯カメラ設置には財源もなく補助事業もない。自治体の設置例もなく、財産の維持管理は個人での対応となる。

A 町として、カメラ設置への補助は考えていない。

Q 福山市は、平成18年からの事業で現在17カ所設置している。

A 総務課長 順次一カ所ずつ設置していくことで町民の幸せに繋がる。前向きに考え対応すべきでは。

Q 夜間は暗視カメラ対応など、経費的に多額となるため設置は難しい。抑止力と言う意味ではダミーカメラや看板設置で対応したい。



防犯カメラ設置で監視中



防犯カメラ作動中

問 仁吾川発電所 復旧の見通しは

橋本輝久議員



答 前向きに検討する

Q 7月から再生エネルギー発電の固定価格買取制度がはじまる。全国の中山間地域では小水力発電への期待が高まる一方、膨大な初期投資が事業を阻む壁となっているが、本町のバイオマスボイラー導入・仁吾川発電所復旧の見通しは。

A 町長 仁吾川発電所については、観光資源や環境教育などとして活用できる。前向きに検討する。

Q 町内の子供の体力低下が危惧され、体力向上に向けた取り組みが重要だ。特に冬季(12月から3月まで)の4ヶ月間は屋外の活動が制限される。

A 町長 冬季や雨天にも活動できるよう、遊休施設である体育館を効果的に活用するため、床を取り除き屋内グラウンドとして活用できないか。



最稼働を待つ仁吾川発電所

Q 遊休施設については売却に限らず、多面的な有効活用も図りたい。

A 町長 旧体育館の活用策としては、いい提案である。耐震強度など調査し前向きに検討する。

Q 平成26年度開校予定の統合中学校の今後のスケジュールは。

A 教育長 本年度は、校舎などの建築設計や用地の確保・教育計画などを行う。25年度は、校舎などの建築と開校の準備などを予定している。

問 今後の新エネルギー導入は

木野山孝志議員



答 小規模発電と木質バイオマス

Q 今後の新エネルギー導入の方向性は、小水力発電を自家発電に利用できないか、戦略

A 町長 4 中学校は23年度の売電実績が58万7千円で教育面ではエコ対策となっている。本庁舎については設置し間もないので実績は上がっていない。

Q 公共施設への太陽光導入において、目標とされた効果は表れているのか。

A 町長 エコなまちづくりを目指した「新エネルギー

室での検討課題だ。開発計画に基づく申請で予算化されるので、豊松の小水力発電に適用し発電所として復活すれば良い。農業用水・上下水の流れを利用しての小水力発電の研究も農水省の予算が付いている。本町の自然を利用した自然エネルギーへのウエイトを高める方策が先進的な取り組みとなるのでは。

Q 太陽光発電は効率が悪く、若者の雇用と産業振興を目的に木質バイオマスに注目されているが、新統合中学校へのバイオマス施設を導入す

A 町長 脱原発から、地域での発電が地域活性化につながる。小規模の発電所が本町に合うと思う。太陽光は初期投資が必要で木質バイオマスを目指しているがコストがかかる。研究・検討が必要だ。

A 町長 少々コストは高くついても木質バイオマスが若者雇用の確保と山の有効活用に繋がる。統合中学校への新エネルギー導入は未定であるが私の思いを生かしたい。



増えつつある太陽光発電パネル設置

問 「森林セラピー基地」認定申請すべきでは

寄定秀幸議員



答 認定申請に取り組む

A 町長 「森林セラピー基地」の認定申請に取り組む。「セラピーのまち」を高

Q 「森林セラピー基地」は、森林医学の面から専門家に実証され、施設・自然・社会条件が一定の水準で整備された地域であり全国では48カ所認定されている。豊かな森林を生かした取り組みを積極的に推進し、「森林セラピー基地」の認定申請をすべきでは。

A 町長 「森林セラピー基地」の認定申請に取り組む。「セラピーのまち」を高

Q ペットブームの陰で、捨て犬や野良猫が増え、全国では22万匹以上の犬や猫が殺処分されている。仙養ケ原の「災害救助犬訓練センター」において、動物愛護センターから殺処分予定の犬を譲り受け、災害救助犬やセラピードッグに訓練・育成している。「殺処分からの再生」の素晴らしい取り組みである。この施設のある本町が率先し、

A 町長 殺処分を減らすため、動物愛護センターと共に、動物愛護精神の啓発に努める。崇高な理念に基づいた「災害救助犬訓練センター」の取り組みに、さらなる支援をしたい。動物の命を大切にする取り組みは大変重要であり、「殺処分ゼロのまち」を高らかに宣言をした

Q 「ペットの殺処分ゼロ」に取り組むべきでは。



小学生と触れ合うリーベと夢之丞（仙養地区民運動会）

A 町長 現段階では時期尚早と思われ、導入は考えていない。

Q 「介護支援ボランティア制度」導入は。

A 教育長 ほとんどの学校で動物を飼っており、道徳の時間やふれあい体験の中から、生命を尊重する動物愛護の精神を培っている。

特別委員会を廃止

最終報告

【議会中継等自主制作番組放送推進特別委員会】

◎本町が推進するCATVのあり方や議会中継、自主製作放送番組などについて調査検討するために設置した「議会中継等自主制作番組放送推進特別委員会」をこの度、廃止することとした。

「神石高原かがやきネット」(CATV)は、23年7月から開始の地上デジタル放送対応に伴う難視聴地域の解消、一体化された行政告知、防災対策、IP電話、連絡通報機能、高速インターネット接続通信などが計画通り完成し、加入率は97%に達した。



会などで調査検討する。

「神石高原かがやきネット」のさらなる有効的な活用を希望する。

◆事業運営において、過疎・高齢化の進展など、憂慮すべき事も多く今後の事業展開に期待する。

1. 町民に分かりやすい議会中継

2. 自主制作番組の積極的な取り組み

3. ケーブルテレビのさらなる有効的活用

◆設置以来2年間の調査検討の結果、事業開始後ほぼ順調な事業運営が継続され、初期の目的は達成されたので廃止する。

今後、議会において必要に応じて新たな特別委員会設置や議員全員協議

問 ふるさと物産館オープンは



村上克朗議員

答 未来創造計画で取り組む

Q 東京のふるさと物産館「広島ゆめてらす」は新たに銀座に7月16日オープンするが、この事業を活用して町内産業への波及効果を高め、成果を上げるべきでは。

A 町長
県から再開に関しての説明を受け、商工会・道の駅・百採館などに説明書を配布している。

Q 商品の製造販売業務を行っている人達にどのようにアピールし、特産品の拡大を図るのか。

A 町長
「未来創造計画」の6次産業化により、特産品の製造販売に取り組む。出品には厳しい条件があるので商品を選別し取り組む。

Q 昨年6月定例会で産直3店舗の統合について、カリスマ的な社長を公募採用し、出荷者協議会も統合し、将来に向け、維持拡大できる体制づくりを図るとの事であったが今後の取り組みは。

A 町長
人選に苦慮している。今後は町内へ募集をかけ、統合について検討したい。

Q 町が株の大半を持つており出荷者は安心感があるが、店自体のやりがい・意欲などが出にくい場合がある。

A 町長
町の持ち株を民間に少し売却してはどうか。

A 町長
今後は、経済原則に基づき検討したい。



182 ステーション店舗内

Q 福山でのホテル火災をうけての、本町の宿泊施設などへの防災査察状況は。

A 町長
ホテル・旅館10施設30棟を査察した。良好2施設3棟、違反6施設25棟、消防用施設不備2、防火管理不備7、その他の不備4施設であった。改善を求めている。

追跡ありゃあどうなった？

買い物困難者支援事業

源流の里しんさか・草木自治振興会で実施

- ・対象地域Ⅱ新坂地域・草木地域
- ・業務内容Ⅱ移動販売、注文配達、安否確認
- ・対象世帯Ⅱ新坂地域（6世帯）草木地区（11世帯）
- ・実施事業者Ⅱフレッシュ川上（新坂地域）ふれあいローソン会（草木地域）

■成果

利用者アンケート調査の結果、移動販売・注文配達サービスへの評価が、両地域とも「サービスに満足」と答えている人が多く、今後のサービス利用についても、両地域とも利用者全員が「今後も利用したい」との希望があるなど、継続の意向が強い結果となっている。

両地域とも、今後の利用の意向が強く、利用者の満足度も高い。

■課題

今後の課題として、「事業継続のための収支確保」「利用者拡大による経営効率の向上」「事業者のリスク負担（事故、衛生上の問題などへの対処）」他の「源流の里地域」への拡大などがあげられた。

■総括

現段階での総括として、「収益性の低い事業であること」「今後、高齢化の進行などに伴い利用者が増加することが見込まれる」ことなどから、事業の継続とサービスの充実を図るため、対象地域拡大と事業者に対する支援を検討する必要がある。



ローソン号出発！（平成24年3月）



ご希望の商品とまごころをお届けしますローソン号（草木地域）

第三セクター経営状況

平成23年度第3セクター販売高

単位：万円（四捨五入）

会社名	売上	当期損益	施設管理料等	運営補助
(株)神石高原農業公社	8,159万円	293万円	1,285万円	450万円
(株)帝釈峡スコラ	8,535万円	▲256万円	1,236万円	万円
(有)直売公社 まるごと市場	2億3,469万円	▲356万円	万円	別枠600万円
(有)油木特産販売 百彩館	8,339万円	▲22万円	18万円	100万円
(有)さんわ182ステーション	4億0,243万円	286万円	666万円	



(株) 神石高原農業公社



(有) 帝釈峡スコラ

○油木百彩館 売上7%減

■生産者の高齢化により出荷量の減少や品揃え不足傾向である。冬から春にかけての端境期には、やむを得ず他地域の産品を仕入れて対応した。食堂は、3月より「蕎庵」が営業。

○まるごと市場

■売上げ6%減(店舗119%増 店外19・7%減)

■店舗売りが伸びた要因

- ①店舗内冷蔵陳列ケースなどの入れ替え・レイアウト変更
- ②イベント実施などで来店客増。

■店外販売の売りが減少の要因

- ①営業開始時間の変更(8時→9時)
- ②高齢化で来店客減少
- ③生産者の高齢化や天候不順に伴う商品不足など。

○182ステーション 売上1125・4%増

■ローソンや自然食レストランのオープンによる相乗効果で来客数が増加。天候不順による野菜価格高騰や米の需要が伸びた。マツタケが豊作で売上706万円。

○農業公社 売上9%増

■トマトの生産販売は、価格高騰により30%の伸び。トマト工房は、新製品開発により55%の伸び。

○帝釈峡スコラ 売上10・6%減

■来客数減となった。テニスサークルなど大学生の合宿が大幅に減少。そば打ち強化講座やドーム球場でのグラウンドゴルフは好評。神石高原マルシェに全期間出店しPRにつながった。

一元玉募金で支え愛

油木小学校児童会

とどげよう支援の心を！

油木小学校児童会は全児童に呼びかけ、6月19日と20日の2日間、「一元玉募金」を行いました。一元玉でずっしりと重い募金箱には、多くの人の真心がいっぱい詰まっていました。

寄せられた真心の募金と激励の文集は、備後地区シルバー連合会を代表して岩手県大槌町を激励訪問した神石高原町シルバー人材センター逸見博志顧問と加村茂樹理事長に託され、大槌町佐々木彰副町長らに手渡されました。



シルバー人材センター加村理事長（前列右）と逸見顧問（前列左）ら一行（大槌町役場）

一人でも多くの支援を！

児童会長の馬屋原孝耶君（6年）と、副会長の中尾一君（6年）は次のように語っていました。

○末だに行方不明の人や避難所暮らしなど困っている人が多いので、東北の人たちにもっと支援を届けられたらと思っています。

○みんなの協力がなくて多くの支援を届けられないから、一人でも多くの人の真心の支援を届けるために一元玉だけの募金にしました。

※被災者への支援を呼びかける油木小学校児童の真心の輪が、さらに大きく広がることを期待しています。



一元玉募金を呼びかける油木小学校児童たち

クイズの解答とともに寄せられた

“みんなの声”

議会広報コンクール
最優秀賞受賞されました事大変おめでとうございます。議会便りをゆっくり活字を読むのも楽しみの時間です。今後の活躍をお祈りします。

(74才・女性)

みんなの声で13才の寄せられた意見がありました。神石もまだまだ青い芽が育っているなって感心致しました。

この若い芽をいかに大切に育てるか私達人人のこれからの仕事だと思いました。まずはありがとうございます！

(56才・女性)

火災等緊急時放送の場所をもう少しはっきりわかるように出来ないものでしょうか。(番地ではわからない)

(62才・男性)

みんなの町議会を見てみると議員さんがそれぞれの分野でご苦労なさっている事よくわかります。感謝するとともにこれからの神石高原町がますますよくなるよう祈っています。

(88才・女性)



神石小学校運動会

議会広報コンクールで最優秀賞を受賞おめでとうございます。今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

(78才・女性)

議会基本条例制定をめざし

議会改革推進特別委員会は、第5回特別委員会を7月5日に開催し、前回に引き続き、神石高原町議会基本条例(素案)を基に審議・検討しました。

◇ 「議会基本条例」とは、議会運営の基本ルールを定めたもので、町民の負託にこたえ、より開かれた神石高原町議会をめざすものです。

9月定例会での制定をめざし、全議員による特別委員会において集中的に審議・検討中であります。

第13回 議会クイズ 正解・当選者

① 96 ② 4 ③ 雇用創出
④ 農地確保 ⑤ うえの
多数のご応募頂きありがとうございました。正解者多数により抽選の結果、次の方々が当選され、1000円分のやまなみ商品券を送りました。

第13回クイズ当選者

神石地区 中山 賀代さん
神石地区 細川 信洋さん
三和地区 川崎 博文さん
三和地区 山本 澄子さん
豊松地区 下川 公恵さん

(順不同)

元気なグループ紹介

神龍湖振興研究会



「金ポタルのタベ」の準備に集った有志(7月10日)

ながの村自治振興会

帝釈峡神龍湖の観光振興と経済・文化の発展に寄与する事を目的に平成3年に設立。

会員は現在12名で主な活動は、毎月の定例会を基本に、月2回の公園内美化清掃やイベントの開催など、観光振興に関わる事業に取り組んでいます。

平成8年の相次ぐ落石により、上帝釈峡と神龍湖を結ぶ遊歩道が通行止めとなり、観光客の減少という深刻な問題に直面。

帝釈峡観光振興のために遊歩道の早期復旧に向けて活動する事を決め、県や町への要望活動や請願書提出に向けての署名運動、度々の視察・調査活動など、全員が団結し全力で取り組みました。

この取り組みが功を奏し、帝釈峡観光振興が大きく前進することになりました。

これまでの周遊型の観光から体験型・滞在型の観光にシフトしていくために、新しいことに挑戦し、帝釈峡でのツールを増やしていきたいと考えています。昨年設立された「帝釈峡広域観光プロジェクト推進実行委員会」と連携を強化し、神石高原町だけでなく、さらに広域的な観光ルート開発を検討したいと考えています。

年間を通して四季折々の帝釈峡の魅力を一人でも多くの方に提供できるよう、さらなる努力をする決意です。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

会長 榎木 晃
会員一同

第14回 議会クイズ

今回の問題は、アンケート編です。皆様の率直なご意見、ご感想をお寄せください。

問1 ケーブルテレビでの議会中継を見ていますか。

- ①よく見ている
- ②あまり見ない
- ③その他

問2 みんなの町議会を読んで町の様子がわかりますか。

- ①よくわかる
- ②あまりよくわからない
- ③その他

問3 議会中継、みんなの町議会など見て、議会に対してご意見・ご感想をお書きください。

《応募方法》
はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」を記入してください。

議会への要望・ご意見なども書いてください。「まちの声」で、できるだけ紹介いたします。

正解者多数の場合は抽選で5名の方に1000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。

応募はお1人・1通に限定させていただきます。
《あて先》
〒720-1522 神石高原町小島二〇二五
神石高原町議会事務局
「第14回議会クイズ係宛」
《締め切り》
8月20日(月) 消印有効

《個人情報取り扱いについて》
ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および「まちの声」などの目的以外には利用いたしません。

編集後記

夏本番を迎えました。ことしは長期予報によると、西日本は暑くなるそうです。

原発事故による電力不足が懸念されていますが、日本人の叡智を結集して乗り切りたいものです。

また今年の7月より再生可能エネルギーで発電された電気の「全量買取制度」がいよいよ始まりました。結果エネルギー分野は大きく変わろうとしています。

混迷を極める国政も時代に取り残されないよう、将来に責任ある政治を期待します。

神石高原町も町民の皆様のご意見をいただいて、将来に向けて進んで行くように頑張りますので、ご協力をお願いします。
(横)

- 議会広報広聴調査特別委員会
- 委員長 寄 定 秀 幸
 - 副委員長 小 川 清 治
 - 委員 木 野 山 孝 志
 - 委員 橋 本 輝 久
 - 委員 横 尾 正 文

住所／広島県神石郡神石高原町小島二〇二五

TEL 0847-89-3340
FAX 0847-85-4201